

原田みちる先生プロフィール

原田みちる先生は平成 31 年/令和元年(2019 年)に女子栄養大学大学院栄養学研究科栄養学専攻で修士課程を修了されました。近年は千葉大学医学部予防医学センターおよび早稲田大学による共同コホート研究「胎児期に始まる子どもの健康と発達に関する調査」をベースとした共同研究に参加されています(2022 年 3 月現在)。

- 1) 2018 年第 7 回日本 DOHaD 学会にて「周産期母体ならびに臍帯血清中脂肪酸組成の縦断的变化からの検討」を発表。
- 2) 2020 年日本脂質栄養学会第 29 回大会にて「妊娠中の母体および臍帯血清中脂肪酸組成と母体重増加量に対する不飽和化酵素活性」を発表。

近年の研究テーマ

「母体および臍帯血清中脂肪酸組成」をメインに、妊娠中の母体重増加量と脂肪酸組成の関連、 $\Delta 5$ および $\Delta 6$ 不飽和化酵素活性との関連について研究

原田先生は助産師・看護師の資格を持ち、臨床で周産期医療に携わる中で母児の健康と栄養について関心を持たれてこのテーマでの研究活動を始められました。特に母体重の増加量と母児の血中脂肪酸組成への関連について強く関心を持ち、臨床現場では妊娠母体の栄養状態の改善へ向けて、助産師として介入できないかについて日々模索されています。様々な社会的背景を持った妊産婦が増えている中、原田先生ご自身の研究が臨床の場で母児の健康保持と栄養状態の改善のために活用されることで、日本の伝統的なお産事情へ一石を投じることができればと考えられています。

受賞歴

なし。